

西 区を豊かに

2020年
3月15日発行
第32号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 下川 照雄

事務局 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

＊西区自治協議会の1年を振り返って＊

＼音楽とアートを楽しんだ2日間／ おとどけ 西区アートフェスティバル+音届

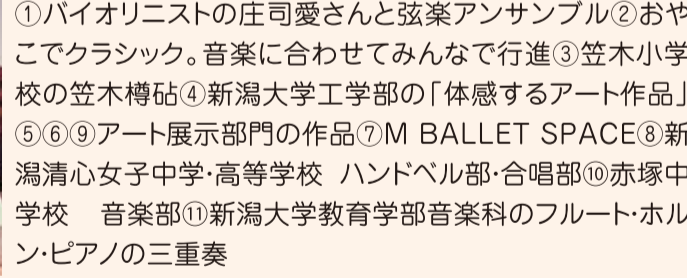


令和元年10月26日、27日の2日間、西新潟市民会館で西区アートフェスティバルを開催しました。西区の文化風土を耕して区民の一体感を高めようと始め、7回目を迎えた今回は、新潟大学が企画・運営する「音届」と同時開催し、一層バージョンアップした催しとなりました。

27日の午前の部には「おやこでクラシック～音の動物園へようこそ～」を開催しました。乳幼児から小学生の親子を初めて対象にしたコンサートで、途中で泣いても、お話ししても大丈夫。いろいろな楽器で動物にまつわる曲の演奏に、参加者は手拍子や体を揺らし、生の音の響きを楽しんでいました。最後は会場のみんなで行進。あっという間に時間が過ぎました。

27日午後開催した音楽・芸能団体発表では笑顔あり、ほろりと涙する場面ありで、西区の魅力をより楽しめる企画となりました。両日開催のアート展示部門も含め、「見ごたえがあった」「刺激を受けた」「自由な発想にびっくり!」などたくさんの感想が寄せられました。

(取材 五十嵐 加代子・佐野 恭子)



①バイオリニストの庄司愛さんと弦楽アンサンブル②おやこでクラシック。音楽に合わせてみんなで行進③笠木小学校の笠木樽砧④新潟大学工学部の「体感するアート作品」⑤⑥⑨アート展示部門の作品⑦M BALLET SPACE⑧新潟清心女子中学・高等学校 ハンドベル部・合唱部⑩赤塚中学校 音楽部⑪新潟大学教育学部音楽科のフルート・ホルン・ピアノの三重奏

シンポジウム 「空き家対策は地域づくり」を振り返って エッ!? 15年後10戸に3戸は空き家!!

令和元年11月10日、西新潟市民会館でシンポジウム「空き家対策は地域づくり」を開催しました。管理不全な空き家を増やさないために地域で何ができるかをテーマに新中浜町内会の倉林会長、山形県酒田市42区自治会の田賀会長、公益社団法人新潟県宅建物取引業協会の田村理事の3名からそれぞれの取り組みをパネルディスカッション形式でお話いただきました。空き家が管理不全にならないよう所有者の確認や情報収集と共有、行政・専門機関との連携、そして何より個人情報やプライバシーに配慮しながら地域一体となった活動は大変興味深く、参

考になりました。

しかし、皆さんの中にはまだ関心の薄い方もいるのではないのでしょうか。2018年全国の住宅数は約6,365万戸、その内空き家は約1,076万戸ですが、2033年には約7,106万戸のうち、約2,146万戸が空き家になると推測されています。

現役世代の皆さん、何も行動せずに15年後を迎えたらあなたの町内の3分の1が空き家となり、更に居住者の40%が高齢者の単身世帯となることをあなたは知っていますか?

このままだと、自治機能を維持できない町内も出て



くるかもしれません。地域一体となり知恵を出し合い、この課題を乗り越えたいものです。

(取材 長澤 良徳)

※役職名等はシンポジウム開催時点のものです

西区の宝サポート事業

地域課題解決に向け3つの提案事業を実施

実施した事業テーマ

- 地域の担い手育成(自治会、民生委員・児童委員)等
- 支え合いのしくみづくりの輪を広げる取り組み
- 区の魅力発信・賑わい創出

地域内の関係づくりと自治活動への参加を促すカレンダーづくり

●提案団体
NPO法人まちづくり学校

●実施内容

地域の担い手育成のため、地域活動への住民の関心・認知度を高め、参加しやすくなるよう、自治会の行事などを掲載したカレンダーを内野平和台自治会で作成しました。

作成にあたり、自治会長・副会長の役割や行事を洗い出したほか、継続的な活動のために負担の軽減や分散、楽しめる活動にするなど事業の見直しも行いました。



●カレンダーづくりで目指したこと

暮らしを支える活動について知ってもらうことで、まちを好きになってもらい、活動に参加する人を増やしたい。

●カレンダーづくりで大切にしたこと

- イベントや旅行の様子を掲載し、参加したくなるような楽しさを伝える。
- 文字を大きく、分かりやすく掲載することで貼っておきたくるカレンダーに。

「プログラミング教育」を通じた教育支援環境の構築と人材活用

●提案団体
大人向けプログラミング勉強会

●実施内容

小学校の必修科目となるプログラミング体験を通して地域人材を発掘し、地域と学校の関わりを増加、支え合いのしくみづくりの輪を広げることを目的に、プログラミング講座を開催しました。

新潟大学の今村孝准教授と約10人のボランティアが講師となり、全14回の課外講座と、5回の保護者講座を開催。約160人の方から参加いただきました。



●参加した親子の声

- ⑩ 学生時代、関数電卓にプログラムしたことを思い出しました。
- ⑪ 分からないところをボランティアさんたちに教えてもらって、とても分かりやすかったです。

●ボランティアの声

退職後、学んだことを地域に還元したいと考え、指導ボランティア活動に参加しました。受講者が、今後私のようにサポート側にも回ることで、どんどん輪が広がっていきたくて嬉しいです。

西区の歴史・文化・技術の記憶を200年後の未来の人々へつなぐ十返舎一九とたどる新川開削ものがたり

●提案団体
越後新川まちおこしの会

●実施内容

西区の魅力を知ってもらうため、漫画家の高橋郁丸さんの描く十返舎一九が案内人となって開削200年を迎えた「新川」の歴史を紹介する映像を作成しました。



●完成記念上映会を実施

2月に内野まちづくりセンターで上映会を行い、多くの方にご覧いただきました。また、上映した映像はDVDとして西区役所等で貸し出しを行います。

提案団体の越後新川まちおこしの会では、団体独自に開削200年を記念した様々な企画に取り組んでいます。西区に暮らす皆さんに、新川やその流域の魅力を再認識してほしいと願っています。

春がきたヨ! クロスワードパズル

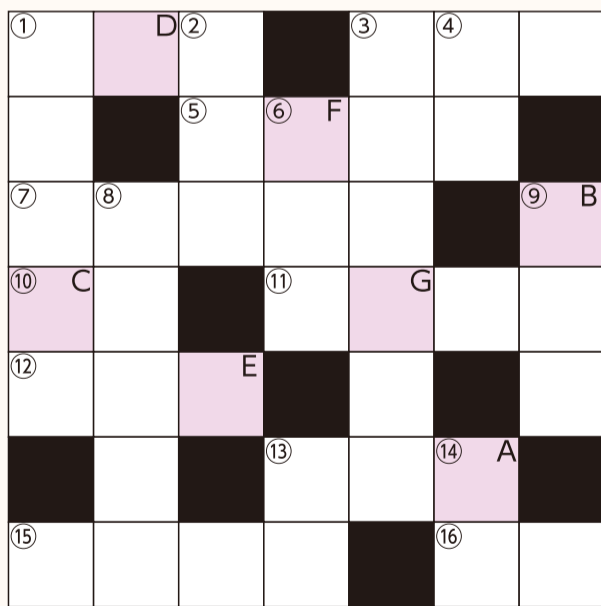
タテのカギ

- ① 進路など交通安全確保。
青・黄・赤が点灯する装置
- ② 使者、神様のお○○○
- ③ 空に残る白い線状の雲は?
- ④ めでたい魚
- ⑥ 筋肉が凝って固くなり
○○○ができる
- ⑧ 主に小学生が使う
通学用カバン
- ⑨ 困難やキケンを恐れない心
- ⑬ ○○な着こなし
- ⑭ 果実の皮と種の間にある
おいしい部分「か○○」



ヨコのカギ

- ① 年度始めは何月?
- ③ おでこの別の言い方
- ⑤ 頭がいい、才知が優れていること
- ⑦ 高い山で見る荘厳な日の出の景色
- ⑩ ○○海、彩○○、積乱○○
- ⑪ 力の限り走ること
- ⑫ すでに読んでいること
- ⑬ 里芋、牛肉を入れて作る
山形の郷土料理
- ⑮ 巻いて揚げる中華料理は
- ⑯ 新潟県内でも
ニュースに登場。
山から下りてきた
大きな動物



A B C D E F G

応募のきまり

◆クロスワードの答え、広報紙や自治協議会活動についてのご意見、住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙表面の「事務局」あてに郵送または電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で20人に図書カード千円分を贈呈。◆締め切り3月30日(月) ◆当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

とっておきの私の一枚

タイトル
のどかな庭園～♪

投稿者
志賀信正 さん

一言コメント

早春の「新潟ふるさと村」ふるさと庭園です。親子で楽しむ、のどかな庭園でした。



募集しています

●とっておきの私の一枚 ◆あなたの「自慢の写真」(家族・風景・イベント・ペット等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。(電子メール可) ◆採用者には図書カード千円分を贈呈。◆応募写真は返却しません。◆締め切り5月30日(9月号掲載予定)。◆送付先/ 広報紙表面の「事務局」あて



パソコン・スマートフォンでもご覧になれます!
Web版「西区を豊かに」